

# まちの拠点検討の参考となる他地域施設の視察

## － 実 施 報 告 －

令和6年1月12日

# 1. 実施概要

幌延町では平成28年度に「幌延町地域振興（観光）計画」、平成29年度に「幌延町地域振興（観光）計画アクションプラン」を策定し、まちの拠点に関する検討や調査、また幌延町の観光振興や食のブランド化に向けた取り組みを行っている。

令和5年11月27日（月）に開催された「令和5年度 第1回 幌延町まち・ひと・しごと創生会議」において、まちの拠点に関する構想のたたき台が示され、今後、継続的に協議を進めることとなった。そこでまちの拠点検討の参考とするために、他地域の取組み事例についての駅の視察を行いました。

## ●日時

令和5年12月22日（金） 8:15集合 17:40解散

## ●視察先

遠別町／アクティブシニア多世代拠点交流センター「なごーみ」  
小平町／多目的防災交流施設「群来る（くきる）」 視察  
留萌市／屋内交流・遊戯施設「ちゃいるも」  
苫前町／苫前地区コミュニティセンター

|    | 分類               | 役職               | 氏名    |
|----|------------------|------------------|-------|
| 1  | 幌延町まち・ひと・しごと創生会議 | 委員長              | 横尾 明  |
| 2  |                  | 委員               | 多田 るみ |
| 3  |                  | 委員               | 澤谷 敦美 |
| 4  |                  | 委員               | 長山 拓矢 |
| 5  | オブザーバー           | 幌延町議会・天塩ハイヤー     | 西澤 裕之 |
| 6  |                  | 幌延町商工会           | 松永 継男 |
| 7  | 幌延町総務企画課         | 課 長              | 早坂 敦  |
| 8  |                  | 参 事              | 山本 基継 |
| 9  |                  | 課長補佐             | 梶 淳   |
| 10 | 受託事業者            | 北海道開発技術センター調査研究部 | 芝崎 拓  |

| 発     | 着     | 所用時間   | 距離   | 内容                                | 備考      |
|-------|-------|--------|------|-----------------------------------|---------|
| 8:15  |       |        |      | 集合/幌延町役場                          | 幌延町役場   |
| 8:30  | 9:10  | 40分    | 40km | 移動                                |         |
| 9:10  | 9:55  | 45分    |      | 【遠別町】アクティブシニア多世代拠点交流センター「なごーみ」 視察 | 入浴施設    |
| 9:55  | 11:00 | 1時間5分  | 68km | 移動                                |         |
| 11:00 | 11:45 | 45分    |      | 【小平町】多目的防災交流施設「群来る（くきる）」 視察       | 防災・交流施設 |
| 11:45 | 12:15 | 30分    | 26km | 移動                                |         |
| 12:15 | 13:00 | 45分    |      | 【留萌市】昼食                           |         |
| 13:10 | 13:55 | 45分    |      | 【留萌市】屋内交流・遊戯施設「ちゃいるも」             | 子供の遊び場  |
| 13:55 | 14:40 | 45分    | 42km |                                   |         |
| 14:40 | 15:25 | 45分    |      | 【苫前町】苫前地区コミュニティセンター               | 地域拠点    |
| 15:25 | 17:00 | 1時間30分 | 89km | 移動                                |         |
|       | 17:00 |        |      | 解散/幌延町役場                          |         |

## 2. 視察の様子

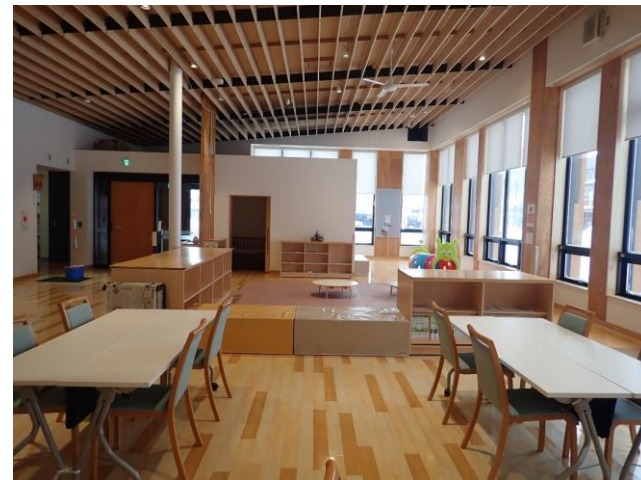
### 【遠別町】アクティブシニア多世代拠点交流センター「なごーみ」



会議室にて説明を受けた。



会議室横の調理室。  
基本的な機能が揃っている。



入口付近のフリースペース。  
奥には子供の遊び場。



風除室の横にある24時間利用できるトイレ。



子供の遊び場。



浴室(男性) 洗い場は3つ設置。

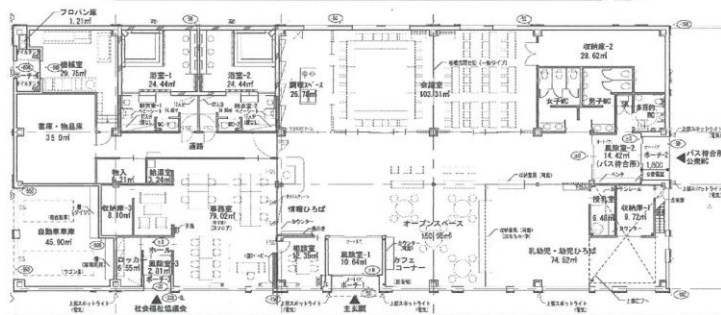
## 2. 視察の様子

### 【遠別町】アクティブシニア多世代拠点交流センター「なごーみ」

- 違う場所に公衆浴場があり、その老朽化に伴い、老人福祉センターの機能を併せ持つ、新しい施設として建設。国からの補助金「地方創成拠点整備交付金」と町の財源で、平成30年に完成した。
- 施設管理は遠別町社会福祉協議会が指定管理。
- 利用者については、コロナ禍で大幅に減少し、最近になり少しずつ回復傾向。公衆浴場の利用者数については、一般利用者に比べると、それほど増減がないため一定のニーズがあった。道が入浴料の条例を改正するため、来年の4月に10円程度値上げを予定。
- 会議室は仕切りで囲うことで、2つに分け使用できる。音響設備等の他、すぐ横に調理スペースがある。
- 調理スペースにはシンクや冷蔵庫、食器関係など基本的な機能が備わっており、簡単な料理関係が作れる。社会福祉協議会が週に1回、主に高齢者の方向けに「ふれあいサロン」を開催しており、食事の提供も行っている。
- 調理室については、もう少し大きくても良かったとの声がある。
- 使用料は無料となっている。オープンスペースは基本的にどなたでも自由に利用できる。
- 災害時の非常用設備は無い。
- トイレは2か所あり、風除室側に24時間利用できる多目的トイレあり。24時間のトイレには防犯カメラは設置していない。防犯上、設置した方がよいとの話は議会に出ていた。風除室はバスの待合で利用する方もいる。町のデマンドバスのバス停がある。
- 子供が遊ぶ場所には、当初おもちゃや図書を置いていたが、コロナ禍により撤去した。現在は、特別なイベントがない限り、おもちゃや図書は出していない。
- 子供の利用について、未就学児は来るが、就学児は少数。学童保育に行く子供が多いと思う。
- 熱源は灯油。エアコンは設置されていない。
- 入浴施設は毎日14:30から営業開始。町民の他に、道の駅で休憩する長距離トラックのドライバーが利用される。あまり大きい湯舟ではない。温泉でもない。今のところ不満の声はない。
- 指定管理は遠別町社会福祉協議会となっており、社協の事務所も有している。
- Wi-Fiは付いていないが、設置要望がある。

## 2. 視察の様子

### 遠別町アクティブシニア多世代拠点交流センター 施設概要



**名称** 遠別町アクティブシニア多世代拠点交流センター  
**所在地** 天塩郡遠別町字本町4丁目 32, 33, 34, 42, 43 番地  
**施設概要** 完成年月 平成30年7月 構造・規模 鉄骨造平屋建  
 敷地面積 1,619.79㎡ 建物面積 799.38㎡  
**施設内容** 事務室、相談室、会議室、調理スペース、  
 乳幼児・乳児ひろば（授乳室）、浴室（男・女）、  
 オープンスペース、多目的トイレ  
**工事費** 263,736千円（建築主体・電気設備・機械設備工事）

### 遠別町アクティブシニア多世代拠点交流センター 施設利用（利用時間・休館日は変動する場合あり）

#### 多目的トイレ

・24時間利用可能 年中無休



#### 公衆浴場

・利用時間：14:30～20:30  
 ・休館日：日曜、祝日、1/2～1/3



#### 会議室・調理スペース

・利用時間：9:00～17:00  
 ・休館日：日曜、祝日、年末年始6日間



#### オープンスペース

・利用時間：9:00～20:30（日曜祝日は9:00～17:00）  
 ・休館日：12/31～1/3



#### 乳幼児・乳児ひろば・授乳室

・利用時間：9:00～20:30（日曜祝日は9:00～17:00）  
 ・休館日：12/31～1/3



## 2. 視察の様子

## 遠別町アクティブシニア多世代拠点交流センター建設の経緯

既存の公衆浴場施設『老人福祉センター』が老朽化していたため、子育て支援や高齢者が多世代とふれあうことのできる環境を併設した公衆浴場施設の建設を検討。その後、国と北海道との協議を経て、補助金（地方創生拠点整備交付金）と町独自財源を基に「遠別町アクティブシニア多世代拠点交流センター」が平成30年に完成した。

施設利用料

- ・会議室、調理室の使用は無料（物品売買は管理者の許可が必要）。
- ・公衆浴場の入料料は次のとおり（令和5年4月1日時点）。

| 区分                 | 入浴料金  |             |
|--------------------|-------|-------------|
|                    | 1 回入浴 | 回数券（11 回入浴） |
| 大人（12 歳以上）         | 480 円 | 4,800 円     |
| 中人（6 歳以上 12 歳未満）   | 140 円 | 1,400 円     |
| 小人（6 歳未満）          | 70 円  | 700 円       |
| 本町に住所を有する 65 歳以上の者 | 150 円 | 1,500 円     |
| 本町に住所を有する 6 歳未満の者  | 50 円  | 500 円       |

## 施設利用者推移（オープンスペース、乳幼児広場は対象外）

| 年度／区分        | 会議室等   | 公衆浴場   |
|--------------|--------|--------|
| 平成30年度（7月から） | 1,758人 | 4,813人 |
| 令和1年度        | 2,842人 | 6,019人 |
| 令和2年度        | 1,082人 | 4,736人 |
| 令和3年度        | 1,071人 | 3,288人 |
| 令和4年度        | 1,467人 | 4,220人 |

# 日刊留萌新聞

2018年(平成30年)  
7月26日 木曜日

発行所/読者新聞社 〒077-0007 留萌市栄町2丁目8-23 電話(0164)42-5555 FAX(0164)43-5550

天気 留萌地方気象台発表

26日 風の嵐、曇り曇りから晴れ。気温は15℃  
(降水確率 0% / 0% / 0% / 0%)  
最高気温17℃、最低気温12℃

## 遠別町の「なごみ」オープン 多世代交流で地域振興を

遠別町の「なごみ」オープン。多世代交流の場として活用されている。

【留萌市】町内4つの自治会が、町民の交流の場として活用されている「なごみ」が、26日(木曜日)にオープンした。多世代交流の場として活用されている。

「なごみ」は、町民の交流の場として活用されている。多世代交流の場として活用されている。

「なごみ」は、町民の交流の場として活用されている。多世代交流の場として活用されている。

遠別町の「なごみ」オープン。多世代交流の場として活用されている。

「なごみ」は、町民の交流の場として活用されている。多世代交流の場として活用されている。

「なごみ」は、町民の交流の場として活用されている。多世代交流の場として活用されている。

「なごみ」は、町民の交流の場として活用されている。多世代交流の場として活用されている。

## 死者は前年比2人増

【留萌市】2017年度(平成29年度)の死者は、前年(平成26年度)に比べて2人増加した。死者は、前年(平成26年度)に比べて2人増加した。

死者は、前年(平成26年度)に比べて2人増加した。死者は、前年(平成26年度)に比べて2人増加した。

死者は、前年(平成26年度)に比べて2人増加した。死者は、前年(平成26年度)に比べて2人増加した。

## あの日たち

【留萌市】2017年度(平成29年度)の死者は、前年(平成26年度)に比べて2人増加した。死者は、前年(平成26年度)に比べて2人増加した。

死者は、前年(平成26年度)に比べて2人増加した。死者は、前年(平成26年度)に比べて2人増加した。

死者は、前年(平成26年度)に比べて2人増加した。死者は、前年(平成26年度)に比べて2人増加した。

## 参加者を募集

【留萌市】町民の交流の場として活用されている「なごみ」が、26日(木曜日)にオープンした。多世代交流の場として活用されている。

「なごみ」は、町民の交流の場として活用されている。多世代交流の場として活用されている。

「なごみ」は、町民の交流の場として活用されている。多世代交流の場として活用されている。

## 食産業

【留萌市】町民の交流の場として活用されている「なごみ」が、26日(木曜日)にオープンした。多世代交流の場として活用されている。

「なごみ」は、町民の交流の場として活用されている。多世代交流の場として活用されている。

「なごみ」は、町民の交流の場として活用されている。多世代交流の場として活用されている。

## 余満

【留萌市】町民の交流の場として活用されている「なごみ」が、26日(木曜日)にオープンした。多世代交流の場として活用されている。

「なごみ」は、町民の交流の場として活用されている。多世代交流の場として活用されている。

「なごみ」は、町民の交流の場として活用されている。多世代交流の場として活用されている。

## サクランボトリ

【留萌市】町民の交流の場として活用されている「なごみ」が、26日(木曜日)にオープンした。多世代交流の場として活用されている。

「なごみ」は、町民の交流の場として活用されている。多世代交流の場として活用されている。

「なごみ」は、町民の交流の場として活用されている。多世代交流の場として活用されている。

## サクランボトリ

【留萌市】町民の交流の場として活用されている「なごみ」が、26日(木曜日)にオープンした。多世代交流の場として活用されている。

「なごみ」は、町民の交流の場として活用されている。多世代交流の場として活用されている。

「なごみ」は、町民の交流の場として活用されている。多世代交流の場として活用されている。

## 2. 視察の様子

### 【小平町】多目的防災交流施設「群来る(くきる)」



多目的ホール・床暖房となっている



多目的ホール横のフリースペース・災害時など移動できる調理台がある



階段下の子供の遊び場



多目的ホール横の調理室。  
調理に必要な基本的な設備が整っている



1階の診療所



1階の歯科診療所

## 2. 視察の様子

### 【小平町】多目的防災交流施設「群来る(くきる)」



診療所前のフリースペース。  
勉強等に使いやすい机も設置されている。



階段踊り場にあるライブラリー。  
図書を設置(貸出はしていない)



2階のホール。



2階ホール横の和室。



災害時の備品を備蓄している備蓄庫。



1階の入口横には、信金ATMが設置されている。

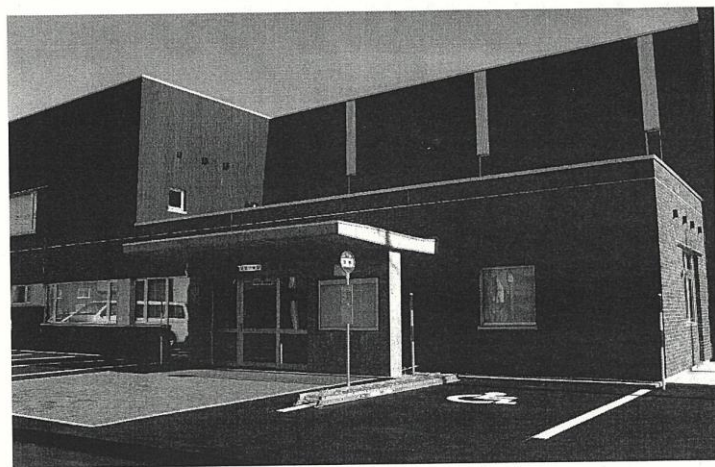
## 2. 視察の様子

### 【小平町】多目的防災交流施設「群来る(くきる)」

- 多目的ホールは60人程度収容できる。普段の使い方は町内会会議や役場の会議、地域包括の健康教室、町の総合健診、インフルエンザ予防接種、乳幼児健診などでも利用している。床暖房となっている。
- 全館Wi-Fiがつながるため、パソコンを持参し勉強している学生等がいる。
- 調理室はここ数年はコロナ禍であまり使用されていない。個室になるため、介護の個別の相談や住民の込み入った相談など、個別相談室としても使用している。
- 調理室以外にも、フリースペースに災害時に使用できる移動できる調理台がある。
- 津波の想定高さが5.2m。1Fの床が3.6m。2Fの床までで7.1mある。基本的には屋上に避難するように誘導する。屋上までは11.2mある。
- エアコンは、事務室と診療所と歯科診療所のみ設置。
- 天窓が付いており、風通しは良い。夜の間、網戸して開けておけば、朝になったら結構冷たい空気が充満している。
- ジムのような健康増進スペースも無料開放されている。1日4人弱くらいの同じ人が利用している。利用は中学生以上。
- 小さいが授乳室も用意している。
- 施設は7:00～21:00となっているが、バスの待合(高速バス・ローカル路線)で利用する方もいるため、6:00過ぎには開館している。管理は地元の業者さんに依頼しており、施設の開閉とちょっとした除雪、屋上の掲揚旗をやってもらっている。
- 施設の中からも外からも屋上にアクセスできる。屋上には太陽光パネルも設置しており、電力を供給している。
- 基本的な暖房は灯油となっている。
- 踊り場のライブラリーで勉強している方もいる。本の貸出はしていないが、旧公民館が所有していた図書を入れ替えている。
- 診療所は町立で経営を委託。基本的な備品は町の方が用意。受付も含めた人件費は委託先の方に任せている。
- エレベーターは無いため、足の悪い人の避難にはサポートが必要となる。
- 鬼鹿地区の人口は令和5年11月末の時点で800人弱。世帯で511世帯となっている。
- 2階ホールから屋上への出入り口は、普段は立ち入り禁止。災害時に使用できるように除雪はしている。屋上には約100人程が避難できるようになっている。
- 備蓄庫には災害時の段ボールベッドや屋上に張れる大きなエアーテント2棟がある。その他、非常食が500食、毛布等は80枚程度ある。防災会議時には、賞味期限の近い非常食は、持って帰っていただくようにしている。避難所の使用実績はまだない。
- 2階の和室での飲食は可能。
- 令和5年1月に鬼鹿地域から留萌信金が撤退したため、ATMを設置している。
- 非常用の発電機もあるが、まだ一度も稼働していない。

## 2. 視察の様子

### 小平町多目的防災交流施設「群来る」 施設概要



#### 「群来る」に込められた意味

鯨が産卵のために群れをなして岸に押し寄せる現象を「群来」といいますが、鬼鹿地区が、鯨漁で栄えてた当時のような活気のある姿に戻って欲しいという願いと、町民の方が「群来」のようにこの施設に集まって交流を深めて欲しいという願いで名付けられました。

### 建設の経緯

以前、現在地にあった旧鬼鹿公民館並びに役場鬼鹿支所、その他鬼鹿診療所、鬼鹿歯科診療所の老朽化が著しく、また内部の造作等が高齢・少子化の現代の地域事情にそぐわないことから、平成17年には鬼鹿地区連合町内会から「行政センターの建設」について要望書が、また平成18年には町議会に対し請願書が提出されました。

これを受け「建設場所」「規模」「事業費」「財源」を検討してきた結果、防災機能を兼ね備えた本施設の建設が決定されました。

#### ① 建物概要

所在 留萌郡小平町字鬼鹿港町125-1

延べ床面積 1,385.27㎡

構造 RC造2階建 一部木造平屋建

工期 R2.11.2～R3.10.20 (11/1 仮オープン)

建設費 627,737 千円

#### ② 特色

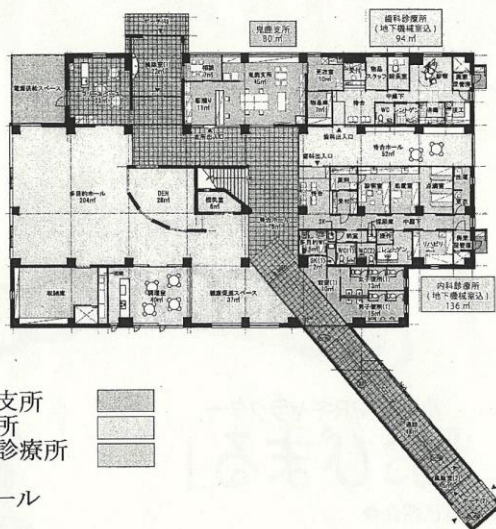
- ・災害時の避難所としての機能（津波時の屋上避難、簡易発電機能、各種防災資機材の備蓄機能等）を設置。
- ・鬼鹿診療所、鬼鹿歯科診療所の併設
- ・国道と道道を繋ぐオニシカフットバスを備える
- ・階段の踊り場を広く確保し「図書コーナー」の設置
- ・子どもの遊び場や授乳室等、子育て世代のニーズに応える。
- ・住民の運動不足解消や高齢者等の要介護状態への防止対策とした運動器具を設置

#### ③ 主な防災備蓄資機材

- ・エアータント（20～30人収容可能：2基）
- ・非常食（約500食）
- ・飲料水500ml（約800本）
- ・段ボールベッド（10台）
- ・毛布（約80枚）
- ・マスク（約10,000枚）
- ・アルコール消毒液

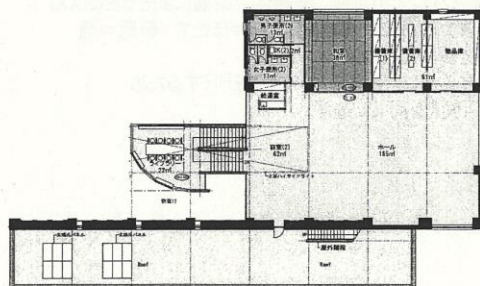
## 2. 視察の様子

### 1階



- 1階 役場鬼鹿支所  
鬼鹿診療所  
鬼鹿歯科診療所
- 多目的ホール  
調理室  
健康促進スペース  
DEN(キッズスペース)  
授乳室

### 2階



- 2階 図書コーナー  
ホール  
和室
- 屋上 避難スペース

## OBIRA TOWN

### 小平町PRキャラクター 「おびまる」

#### ◆自己紹介◆

名 前：おびまる

由 来：「おびら」の特産品「まるごと」⇒おびまる



#### ◆デザインコンセプト◆

小平町の豊富な特産品をモチーフにしています。

●頭⇒メロンと小平牛 ●胴体⇒茶碗によそったごはん

●腕・マント⇒たこ ●手・リボン⇒ほたて ●靴⇒魚

そうして背中には「小平」

「おびまる」は小平町のおいしいをPRするため  
日々活動を続けています。



## 2. 視察の様子

### 【留萌市】屋内交流・遊戯施設「ちやいるも」



遊戯ひろば入口にあたる交流・休憩スペース。  
テーブルや椅子が置かれている。



子供達に人気の木製バンク。



遊戯ひろばには、複合遊具やトランポリン、クライミングウォールなどがある。



木製バンク下の図書コーナー。



クリエイティブゾーンは大型ブロックや木製キッチンが置かれている。



インターネット上で事前に利用予約できるようになっており、混在状況もわかる。

## 2. 視察の様子

### 【留萌市】屋内交流・遊戯施設「ちゃいるも」

- ちゃいるも及び隣の管理棟・道の駅は留萌観光協会に指定管理している。
- 7.2haの船場公園の管理棟と道の駅るもいを令和2年7月にオープン。成長する道の駅という市長の意向もあり、次のステップとして遊戯施設の『ちゃいるも』を令和4年4月29日オープンした。
- ネーミングは市内外に公募し、市内の中学生の応募から「チャイルド」と「居る」と「るもい」を掛け合わせた『ちゃいるも』とした。
- 「バランス感覚を育む」「体力を育む」「想像力を育む」「安全・安心に遊ぶ」という4つの視点をベースに、体を動かせる「アクティブゾーン」と、積み木等がある「クリエイティブゾーン」の2か所にゾーン分けしている。
- 12月31日～1月5日の年末年始を除き開館。条例上9:00～17:00が開館時間だが、指定管理者の努力で夏場の間は18:00まで営業している。
- 総床面積は784㎡で、総工事費は514,327,000円。
- 施設の機能は「遊戯ひろば」の他、「交流・休憩スペース」「アンテナショップ」、「カフェ」、あとは「事務室」。ほかに、デジタルサイネージによる「情報コーナー」がある。トイレも、子供の施設のため子供用トイレの配置、施設の中には「授乳室」もある。
- エアコンも設置されており、冬場は床暖房となっている。無料Wi-fiやUSBポートも設置されている。
- アンテナショップが約111㎡。観光協会が運営する駅前の「お勝手屋 萌」の2号店となっている。カフェスペースは公募した結果、市内のお菓子屋「ルモンド」がカフェを出店。「ルモカフェ」という名前で営業している。トイレ、事務所等々、事務的なスペースが172㎡で合計784㎡。
- コロナ禍のため利用時間を3クールに分け、90分交代制で運用している。1クールの上限は、大人と子供合わせて60名。
- 料金は子ども1人100円で、付き添いが必須。第2子や0歳で抱っこ紐等で、遊べない子どもについては100円の対象外。
- ウェブで利用予約するシステムを導入。上限の60名から予約が入ると、利用できる人数が減っていくように、見える化している。事前に混在状況がわかる利点があり、利用者からは好評。ウェブ以外でも、窓口に直接来て、入館することもできる。
- 令和4年度の利用状況は4月29日に開館し、1年間の入込数は、大人が11,881人、子供が12,443人。合計24,324人となった。利用者の居住地は、市内3対市外7ほどで、市外の方が多い。利用者の年齢は1歳から小学校入学前の未就学児がメイン。幌延町からも40名程の利用があった。令和5年度も、1年間を通し、道の駅の入込数含め、右肩上がりで、順調に増加している。前年度比10～20%くらい増加している。

2. 視察の様子



屋内交流・遊戯施設「ちやいるも」外観イメージ

■屋内交流・遊戯施設「ちやいるも」概要

|          |                                                                                              |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| ネーミング    | 伊藤愛桜さん（13歳）が、「チャイルド+居る+も」を組み合わせたもので、こどもが居るものにたくさんいることをイメージしたもの                               |
| 施設のコンセプト | 親子や家族で時間を過ごせるくつろぎの「空間」と、地域特産品等の「魅力」を発信する道の駅の新たな「交流拠点」                                        |
| 遊戯ひろばの機能 | 「バランス感覚を育む」「体力を育む」「想像力を育む」「安全・安心に遊ぶ」の4つの視点で遊びを楽しむ空間                                          |
| オープン     | 令和4年4月29日（金）グランドオープン                                                                         |
| 開館日      | 年末年始（12月31日～1月5日）を除き開館                                                                       |
| 開館時間     | 9：00～17：00                                                                                   |
| 延床面積     | 784㎡                                                                                         |
| 工事総額     | 514,327千円                                                                                    |
| 施設内容     | 遊戯広場、交流・休憩スペース、アンテナショップ、カフェスペース、事務室、情報コーナー、授乳室（2部屋）、おむつ替え（2台）、トイレ（大人用、子供用、多目的延べ17台）、手洗い、水飲み場 |
| 設備       | 空調、床暖房、ロスナイ、無料Wi-fi、無料充電スポット、防犯カメラ                                                           |

【遊戯ひろばの利用】

|      |                                                    |
|------|----------------------------------------------------|
| 開館時間 | 10：00～16：00                                        |
| 対象年齢 | 小学生以下（保護者の付き添い必要）                                  |
| 利用人数 | 1クール60人程度上限 ①10：00～11：30 ②12：30～14：00 ③14：30～16：00 |
| 利用料金 | こども1人につき100円（1クール1時間30分）                           |
| 利用方法 | 事前予約（パソコン、スマホ、電話）                                  |

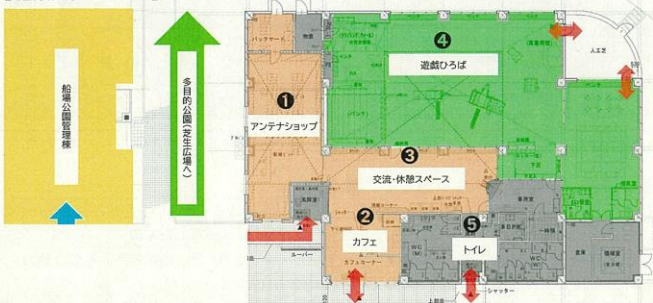
【令和4年度 遊戯ひろば利用状況】

| 大人     |        |         | 子ども    |        |         | 合計      | 減免     |
|--------|--------|---------|--------|--------|---------|---------|--------|
| 市内     | 市外     | 計       | 市内     | 市外     | 計       |         |        |
| 3,792人 | 8,089人 | 11,881人 | 4,651人 | 7,792人 | 12,443人 | 24,324人 | 1,083人 |



※5月5日のこどもの日無料開放、留萌市の子育て支援事業や市内小学校や幼稚園の団体利用などで利用は、使用料を減免しています。（市内9団体が延べ33回利用）

【施設配置イメージ】



【施設内：遊戯ひろばのイメージ】



■施設の概要（延べ床面積784㎡）

|                     |                                                                                                   |
|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①アンテナショップ<br>【111㎡】 | ・おみやげ処 お勝手や萌 道の駅店<br>・取扱品（農水産物、水産加工品、銘菓、KAZUMO ちゃんグッズ、道の駅関連グッズ、オリジナル商品）                           |
| ②カフェスペース<br>【44㎡】   | ・ルモカフェ（ルモンド道の駅店）<br>・メニュー（季節のジェラート、飲むスイーツ、生しばり チュロス、ナニコレ自販機など）                                    |
| ③交流・休憩スペース<br>【90㎡】 | ・地域の情報発信 ・約31席（幼児用含む）<br>・無料Wi-fi、無料充電スポット                                                        |
| ④遊戯ひろば<br>【367㎡】    | ・右側 ⇒ ①クリエイティブゾーン（大型ブロック）<br>・左側 ⇒ ②アクティブゾーン（複合遊具⇒ベビーコーナー ⇒エアトラック⇒クライミングウォール ⇒木製バンク【道産加工木材「樺」使用】） |
| ⑤トイレ、事務所等<br>【172㎡】 | 風除室、通路、トイレ、事務所、倉庫など                                                                               |

## 2. 視察の様子

### ● 遊戯ひろばご利用について

- ・小学生以下のお子様を対象とした遊戯施設です。
- ・お子様だけのご入場はできません。  
必ず保護者（扶養者または20歳以上）も一緒にご入場ください。
- ・遊戯ひろば内では水、お茶以外の飲食物の持ち込みは出来ません。

～ 各回 15 分前より受付スタート ～

第1クール 10:00～11:30

第2クール 12:30～14:00

第3クール 14:30～16:00

※クール内でも受付して入場することができます

こども1人100円/回

※付き添い0歳児は無料

安全を考慮し、保護者1人につき  
お子様4人までご利用いただけます

受付スムーズ♪

会員

都度、身分証を提示

非会員

#### ● 当日受付

申込用紙に記入

申込用紙に記入  
身分証明書の提示

#### ● 電話予約

TEL:0164-56-0870

受付に氏名を伝える

受付に氏名を伝えて  
申込用紙に記入  
身分証明書の提示

#### ● ネット予約

受付に氏名を伝える

受付に氏名を伝える  
身分証明書の提示



非会員の方もご予約できます

#### 会員登録の方法

- ①右のQRコードを読み取り空メール送信
- ②ちやいるもから届くメールのURLにアクセス
- ③必要事項を入力
- ④ちやいるもからメールが届いたら登録完了

会員登録された方は  
初回のみ身分証明書ご提示が必要です。  
(次回からは身分証明書の提示は不要)



▲ 会員の方はログイン状態でネット予約をしてください（ログインID・パスワード入力が必要となります）



北海道留萌市船場町2丁目（道の駅のもい管理棟 横）  
TEL:0164-56-0870 FAX:0164-42-6500

屋内交流・遊戯施設

# ちやいるも

開館時間 9:00～17:00

年中開館

（5月～9月は18:00まで） ※年末年始除く（12/31～翌年1/5）

- ・遊戯ひろば 10:00～16:00 【休】施設開館に準ずる
- ・アンテナショップ 9:00～17:00 【休】施設開館に準ずる
- ・カフェ 10:00～17:00 【休】水曜日  
（冬期11:00～16:00）

## 2. 視察の様子



- ペット同伴の入場はできません
- ゴミ箱は設置しておりません  
各自お持ち帰りいただくか、  
購入した店舗へお渡しください
- 敷地内全面禁煙

### アンテナショップ

おみやげ処  
お勝手屋 萌 道の駅

特産品・道の駅グッズ販売

道の駅のもいスタンプ設置



### カフェ

ルモンド道の駅 ルモカフェ  
軽食やデザート、ドリンク販売

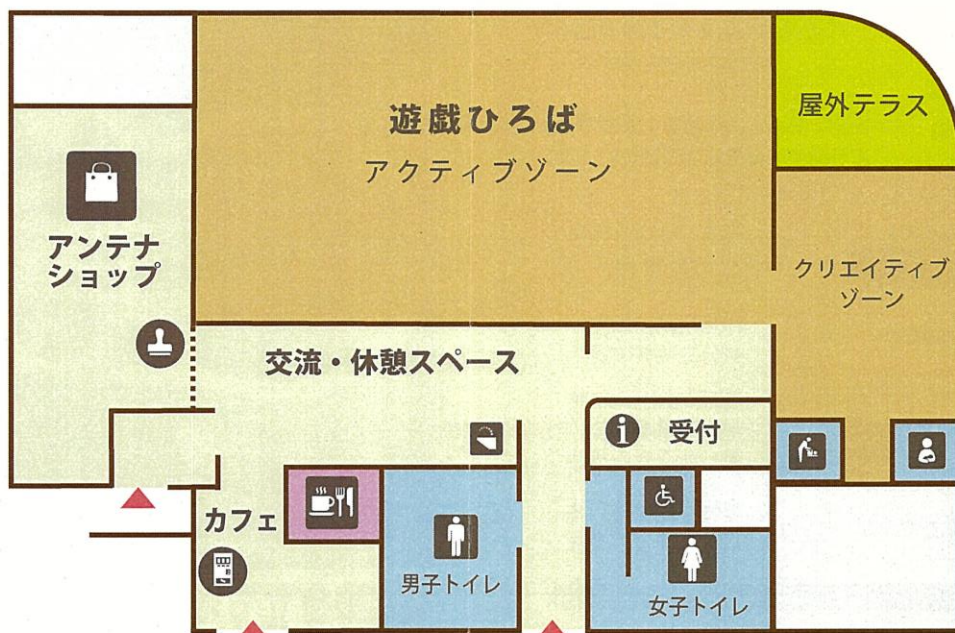
ナニコレ自販機設置



### アクティブゾーン



### クリエイティブゾーン



### 授乳室



### おむつ替室



### 交流・休憩スペース



### 男子トイレ



### 女子トイレ



多目的トイレにも  
おむつ替台 1 台あります

## 2. 視察の様子

### 【苫前町】苫前地区コミュニティセンター



苫前町 福士町長から歓迎のご挨拶を頂いた。



会議室は、大会議室・多目的会議室・小会議室×2、計4つの会議室がある。



役場とコミュニティセンターを繋ぐ渡り廊下。各階でつながっている。



3階の議場。  
災害時も使えるよう、机・テーブルは取外し可能。



1階の研修室(調理実習)。  
基本的な設備が整っている。



屋外の防災用の備蓄庫。  
このほか、町内の小学校にも備蓄している。

## 2. 視察の様子

### 【苫前町】苫前地区コミュニティセンター

- 苫前地区の公民館として、昭和45年に建築された福祉センターという名称でここから50m程の市街地に近い場所にあった。苫前地区の住民の集まりで利用できる施設だったが、建築から50年以上し、老朽化したこともあり、本施設の建設に至った。
- 福祉センターでは各種行事や駐車場を使った行事も行われていたため、福祉センターがあった場所への建て替え要望もあった。福祉センターにあった大ホールも求められた。また、卓球やゲートボールなどの、スポーツの要望もあったが、スポーツについては、小中学校の体育館を、夜間に開放しており、そこを利用いただくことで整理・理解いただいている。
- 役場に隣接した経緯として、役場庁舎の耐震性問題があった。耐震補強として、外壁をRCで固め耐震性だけを保つ耐震工事を行った。この耐震工事と、コミュニティセンターの建設を一括発注することで、コストを抑えられる。また、コミュニティセンターにエレベーターを設置し、渡り廊下で全ての階とつなぐことで、バリアフリー化を図れるようにした。
- 防災施設の拠点。苫前地区は海岸に面しているが、役場施設やコミュニティセンターが建ってる場所は、海岸から非常に高さがある。防災、災害時には役場庁舎に加えて、このコミュニティセンターを防災拠点として使用する。
- コミュニティセンターの建築と役場庁舎の耐震工事を一体的に発注し、総額12億となった。令和3年4月1日から供用を開始。
- 公民館的な施設であるコミュニティセンターは、過疎債を使用した。
- 1～2階をコミュニティセンターとし、3階には議会を行う議場を設置。役場耐震性として、3階に大きな空間があると耐震構造上、数値が出ないため役場庁舎にあった3階議場を撤去した。
- 1階、2階は地域集会施設として過疎債の対象となっている。
- 議場は、災害時にテーブル・椅子が取り外すことで、広いスペースにできる。3階部は緊急防災減災事業債を使っている。
- 1階には大会議室の他に、台所、調理等ができる調理実習室がある。社会福祉協議会が玄関すぐに事務室を構え、本来業務の他、コミュニティセンターの委託として管理業務を行っている。またロビーでは図書館の方から定期的に本の一部を置き、貸出業務も社協で行っている。全館エアコンが入っている。
- 2階は30人規模の多目的会議室の他、2つの小さな会議室がある。小さな会議室2つあるが、小さな会議室は間仕切りで区切ってあり、仕切りを外すことで、大きな広い会議室としても利用できる。小さな会議室が2つあるが、小さな会議室は間仕切りで区切ってあり、仕切りを外すことで、一つの大きな会議室としても利用できる。
- 留萌中部森林組合及び訪問看護ステーションの2つの団体が事務所として利用している。3階はすべて議場となっている。事務所として家賃を徴収している団体は無い。
- 駐車場のスペースは確保しているが、冬は除雪の関係で駐車スペースも少なくなり、車を停める場所がないとの苦情もある。
- 屋外に防災コンテナを設置し、備蓄している。町内の学校にも専用の防災倉庫を設置しており、コミュニティセンターの備蓄はそれほど多くない。
- 予備電源として大型の発電機を役場の外に設置し、直接電気を切り替えることができる。調理室では炊き出しもできる。

2. 視察の様子

苫前地区コミュニティセンター建設事業財源内訳

| 区 分             | 事業費       | (単位：千円)   |     |         |
|-----------------|-----------|-----------|-----|---------|
|                 |           | 財 源 内 訳   |     |         |
|                 |           | 地方債       | その他 | 一般財源    |
| 苫前地区コミュニティセンター  | 505,823   | 396,300   | 0   | 109,523 |
| 役 場 庁 舎 耐 震 改 修 | 786,897   | 637,500   | 0   | 149,397 |
| 合 計             | 1,292,720 | 1,033,800 | 0   | 258,920 |

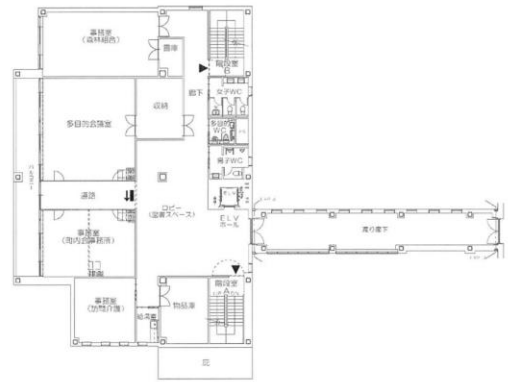
■施設概要■

- 名 称  
住 所  
建築面積  
建築延床面積  
規模構造  
施設内容
- 苫前地区コミュニティセンター  
苫前郡苫前町字旭37番地の1  
545.14㎡  
1399.28㎡  
鉄骨造3階建て（一部鉄筋コンクリート造）  
1 階 大会議室 調理実習室 事務室（苫前町社会福祉協議会）  
機械室  
2 階 多目的会議室 小会議室1（苫前町内会） 小会議室2  
図書コーナー  
事務室（留萌中部森林組合、羽幌地域苫前訪問看護ステーション）  
3 階 苫前町議会議場  
各階共通 エレベーター 多目的トイレ（オストメイト対応）  
役場庁舎連絡通路（渡り廊下）

館内図



■ 1 階平面図



■ 2 階平面図

## 2. 視察の様子



■ 3階平面図

3. 視察した施設のまとめ

| 視察名                                     | 完成      | 機能                                                                                                        | 管理               | 面積                             | 建設費       | 維持管理費         |               |               |          |
|-----------------------------------------|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|--------------------------------|-----------|---------------|---------------|---------------|----------|
|                                         |         |                                                                                                           |                  |                                |           | 人件費           | 光熱水費          | 保守その他         | 計        |
| 遠別町<br>アクティブシニア多<br>世代拠点交流セン<br>ター「なごみ」 | 平成30年7月 | 事務室、相談室、会議室、調理スペース、<br>乳幼児・乳児ひろば（授乳室）、浴室（男・<br>女）、オープンスペース、多目的トイレ                                         | 指定管理：<br>社会福祉協議会 | 敷地：1,619.79㎡<br><br>建物：799.38㎡ | 263,736千円 | 6,348千円<br>※1 | 4,687千円<br>※2 | 1,212千円<br>※3 | 12,247千円 |
| 小平町<br>多目的防災交流施<br>設「群来る（くきる）」          | 令和3年11月 | 役場支所、診療所、歯科診療所、多目的<br>ホール、調理室、健康促進スペース（運動<br>器具）、キッズスペース、授乳室、図書<br>コーナー、ホール、和室、避難所（屋上避<br>難、簡易発電、防災資材の備蓄） | 直営：<br>役場支所      | 延床：1,385.27㎡                   | 627,737千円 | -             | -             | -             | -        |
| 留萌市<br>屋内交流・遊戯施<br>設「ちやいるも」             | 令和4年4月  | 遊戯広場、交流休憩スペース、アンテナ<br>ショップ、カフェスペース、事務室、情報<br>コーナー、授乳室（2部屋）、トイレ、手洗<br>い、水飲み場                               | 指定管理：<br>観光協会    | 延床：784㎡                        | 514,327千円 | -             | -             | -             | -        |
| 苫前町<br>苫前地区コミュニ<br>ティセンター               | 令和3年4月  | 大会議室、研修室（調理実習）、事務室、<br>多目的会議室、小会議室（2部屋）、図書<br>コーナー、森林組合、訪問介護ステーシ<br>ョン、議会議場、多目的トイレ、役場渡り廊<br>下             | 管理委託：<br>社会福祉協議会 | 建物：545.14㎡<br><br>延床：1399.28㎡  | 505,823千円 | 2,506千円<br>※1 | 1,518千円<br>※2 | 3,030千円<br>※3 | 7,054千円  |

小平町・留萌市のデータは未精査のため掲載していません。

※1 管理・清掃員（昼間・夜間・休日）、除雪賃金

※2 燃料費（浴場・暖房用）2,855千円、ポンプガス36千円、上下水道料740千円、電気料1,056千円、

※3 消耗品（施設、浴場、事務費）400千円、入浴券印刷35千円、修繕費270千円、電話料30千円、ワックス・カーペット清掃400千円、その他77千円

※4 窓口業務に係る委託料。

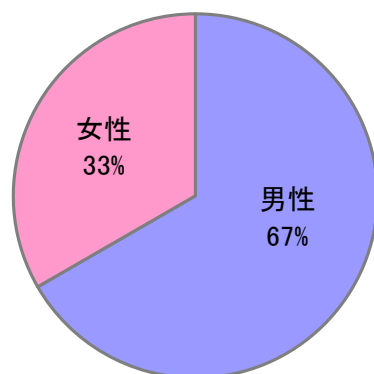
※5 燃料費（暖房用灯油代）のみ。電気料は役場庁舎と一括請求のため不明。

※6 インターネット接続156千円、設備保守2,786千円（自動ドア75千円、エレベーター687千円、エアコン1,263千円、ボイラー388千円、その他設備373千円）、防犯カメラシステム利用料88千円

## 4. アンケート調査結果

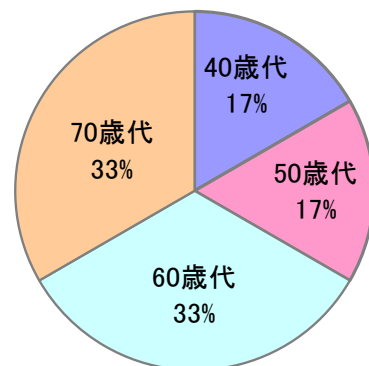
視察にご参加頂いた方にアンケートを行った。

①性別



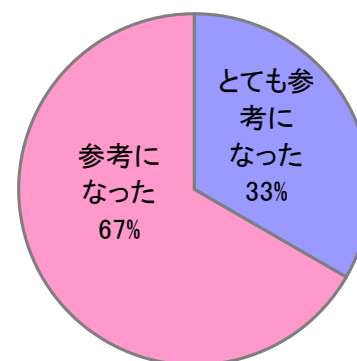
n=6

②年齢



n=6

③「アクティブシニア多世代拠点交流センター『なごみ』」について

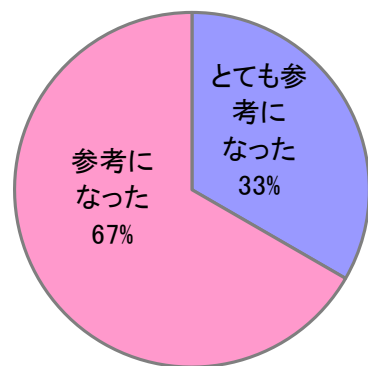


n=6

【参考になると思ったこと】

- ・ 施設建設の経緯
- ・ 社協があること。役場と消防の間に立地していること
- ・ お風呂からあがった休憩所の場所が半分置があればいいなあ〜と
- ・ お風呂（小さ目でしたが）、バス乗り場

④「多目的防災交流施設『群来る(くる)』について

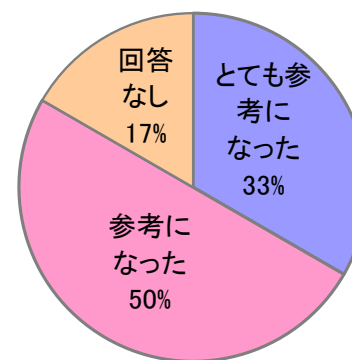


n=6

【参考になると思ったこと】

- ・ 鬼鹿と言う地域性に対応している点
- ・ 防災関係
- ・ 上部の窓をあけて暑さを逃がす。図書が置いてある。
- ・ 和室があるのが良かった
- ・ 二階の広いホール(災害時に役に立つ)和室があるのが良い

⑤「屋内交流・遊戯施設『ちやいるも』について



n=6

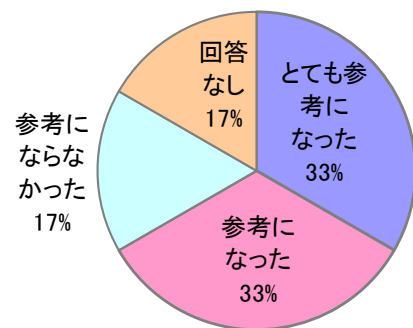
【参考になると思ったこと】

- ・ 幼児が裸足で走り廻っている遊戯室など
- ・ 子供用のトイレを初めて見れた点
- ・ アクティブゾーンとクリエイティブゾーンを区分しているところが良い
- ・ 幼児から小学生まで幅広い年齢まで気配りしてるのが良いですね
- ・ 遊戯施設、子供達が楽しめる場

## 4. アンケート調査結果

視察にご参加頂いた方にアンケートを行った。

### ⑥「苦前地区コミュニティセンター」について



n=6

#### 【参考になったと思ったこと】

- ・ 議場を災害時は利用する考えは良い
- ・ 役場と隣接してるのがいい
- ・ 役場に隣接している、女の人の意見を取り入れた調理室

### ⑦自由意見

- ・ 管理維持経費、概ね、年間、人件費含めいかほどか。次回会議までに聞き取っておいてほしい。
- ・ どの施設も新しくきれいで、その街での工夫が違っていて勉強？になりました。幌延でこの先建設するにあたって何を重点にするか1つ1つ考える事が大事かと。あまりあれもこれもになると大変かも…
- ・ どれも新しくきれいで素晴らしかったです。補助金を使ったり工夫して建設しているのだなと思いました。今の時代フリーwifiは必要ですね。幌延も必要なものをコンパクトに入った建物にしたいですね。